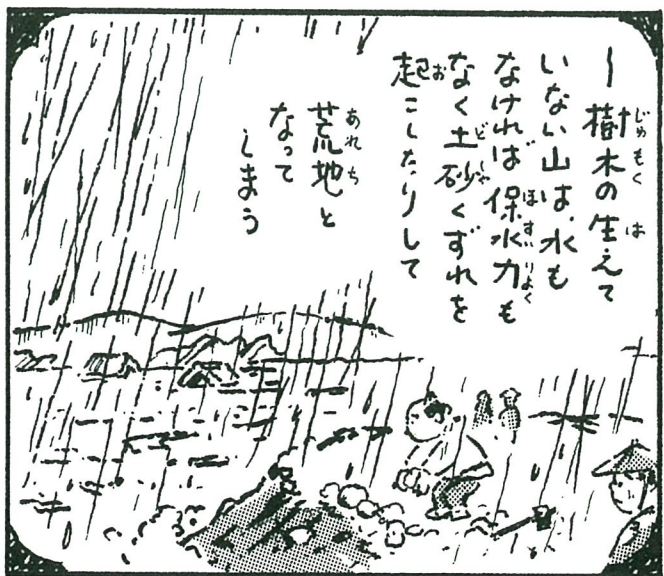
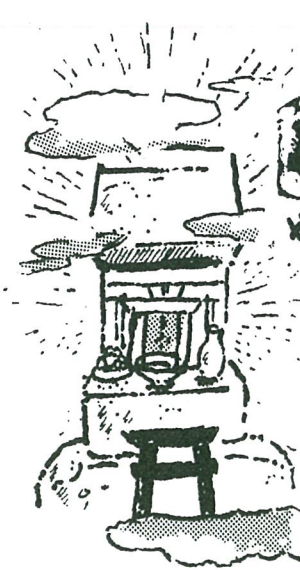


第10回

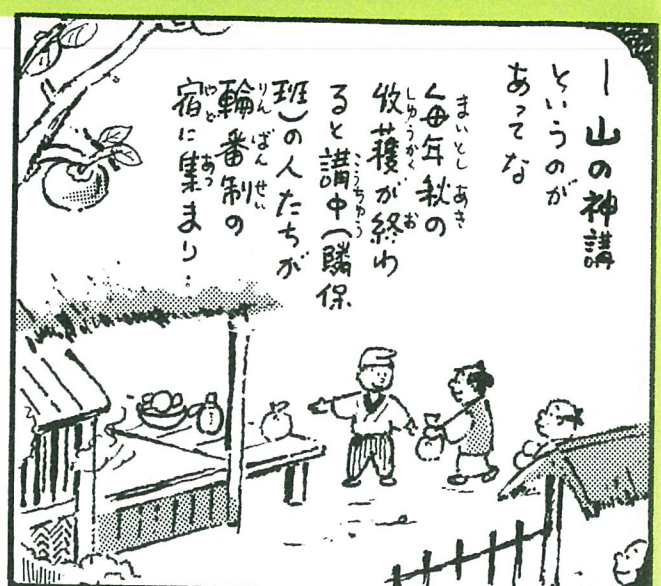
# 山の神講

やま 講 神 講  
がみ こう





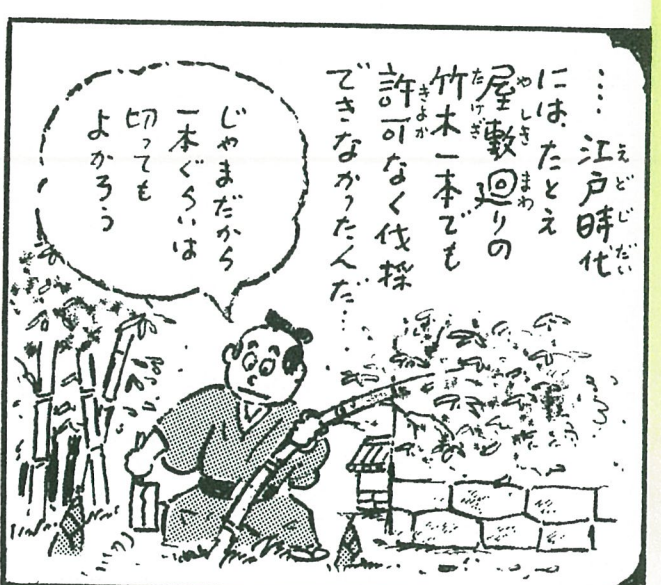
又の家より  
持ち寄った  
お米やあずきや  
炊いて赤飯や  
餅を山の神に  
お供えして  
お祈りするんだ  
—また—  
山の入口には  
石祠を建てて  
お祀りして  
いるんだ



—山の神講  
というのが  
あってな  
毎年秋の  
収穫が終り  
ると講中(講保  
班)の人たちが  
輪番制の  
宿に集まり



樹木の  
無断伐採  
処罰する  
により  
丸刈りする  
じゃまだから  
一本ぐらいは  
切っても  
よからう  
竹一本でも  
許可なく伐採  
できなかつたんだ



…江戸時代  
にはたとえ  
屋敷廻りの  
竹一本でも  
許可なく伐採  
できなかつたんだ  
じゃまだから  
一本ぐらいは  
切っても  
よからう



—それに  
山の神講の  
集まりも  
どうなっちゃた  
のか—  
先生!  
ホウたちが  
山や樹木を  
キッと守って  
しまっす



—昔は  
それくらい  
山や樹木を  
大切にした  
んだが—  
現在では  
雪や風で  
いたんだ木が  
放置されて  
いるのを  
見ると…